

2023年4月18日

デザインブランドアッププロジェクトのコンセプトへ
相鉄いずみ野線 ゆめが丘駅をリニューアル
「ゆめが丘大規模集客施設」オープンにむけて、改札口を増設

相模鉄道株式会社

相鉄グループの相模鉄道(株) (本社・横浜市西区、社長・千原 広司) では、「ゆめが丘大規模集客施設」のオープン (2024年夏予定) にむけて、相鉄いずみ野線 ゆめが丘駅 (横浜市泉区) をリニューアルします。

■相鉄いずみ野線 ゆめが丘駅リニューアルの主な内容

・新改札口の設置

「ゆめが丘大規模集客施設」(2024年夏オープン予定) 側に新改札口 (交通系 IC カード専用改札) を設置します。大規模集客施設との間に一部、屋根を設置することで一体感を創出する他、雨にぬれず行き来できるなど、お客さまの利便性が向上します。

・トイレの全面改修

トイレは全体を明るく清潔感のある色合いにし、多機能トイレの拡充や女性用トイレにパウダーコーナーを設置します。

駅舎のデザインは、相鉄グループが取り組む「デザインブランドアッププロジェクト※」の統一コンセプトに基づき、外壁にレンガを採用。リニューアルの完成は、大規模集客施設に合わせて 2024年夏ごろを予定しています。

概要は、別紙のとおりです。



リニューアル後のゆめが丘駅 [新改札口側イメージ]



ホーム階 [イメージ]

相鉄いずみ野線 ゆめが丘駅リニューアルの概要

1. 概要

- ・新改札口の整備
- ・トイレの全面改修
- ・ユニバーサルデザインの採用
- ・ホームへの雨吹き込み対策
- ・ホーム上家鉄骨の新塗装
- ・内外装のリニューアル



大規模集客施設（左）と
新改札口（右）〔イメージ〕

2. 構造

地上1階建て、改札2カ所

3. 延床面積

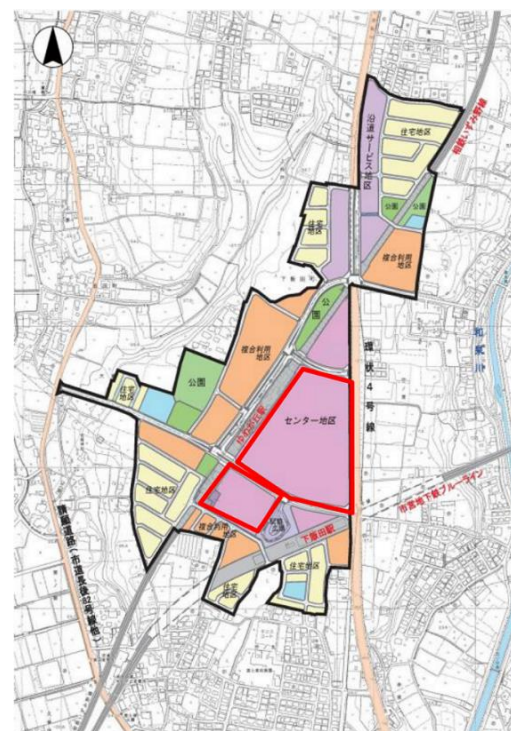
約 580 m²（容積対象部分）

4. 工事期間

2023年1月～2024年夏（予定）

5. 工事主体

相模鉄道株



土地利用計画図
〔赤枠部分が大規模集客施設〕

現在の相鉄いずみ野線 ゆめが丘駅の概要

1. 所在地

神奈川県横浜市泉区下飯田町 1555-9

2. 構造

地上1階建て、改札1カ所

3. 延床面積

約 400 m²（容積対象部分）

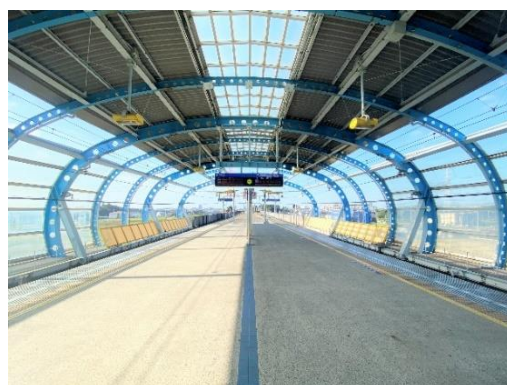
4. 乗降人員

1,904人（1日平均乗降人員・2021年度）

5. 沿革

1999年 3月10日開業

2000年 関東の駅100選に選出



現在の相鉄いずみ野線 ゆめが丘駅

※「デザインブランドアッププロジェクト」とは・・・

デザインの総合監修を「くまモン」の生みの親で、クリエイティブディレクターの水野学氏（グッドデザインカンパニー代表）、に依頼し、お客さまとの最大の接点となる駅舎や車両、制服などを統一したデザインコンセプトに基づきリニューアルを進め、認知度や好感度を高めることで「選ばれる沿線」の実現を目指す相鉄グループの取り組み。

公式ウェブサイト（<https://www.sotetsu.co.jp/design-pj/>）